

報道の時代

—近世の風説から近代の新聞へ—



福島県の新聞誕生に深く関わった
河野 広中

明治元年(1868)
戊辰戦争

明治9年
三県合併

明治15年
福島事件

明治23年
国会開設

明治37年
日露戦争



観覧
無料

令和5年 4月15日(土) - 7月9日(日)

〔会場〕 福島県歴史資料館展示室
(とうほう・みんなの文化センター内)

〔開館時間〕 午前9時-午後5時 (入館は午後4時30分まで)

〔休館日〕 毎週月曜日

〔解説会〕 4/29(土)祝・5/28(日)・6/24(土)、午後1時30分から50分程度

〔主催〕  公益財団法人
福島県文化振興財団



福島県歴史資料館

🔍 福島県歴史資料館

🔍 検索

〒960-8116 福島県福島市春日町 5-54

TEL: 024-534-9193 FAX: 024-534-9195

E-mail: history@fcp.or.jp



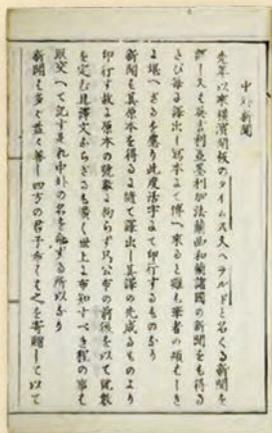
報道の時代 —近世の風説から近代の新聞へ—

令和5年（2023）に没後100年を迎える河野広中（1849—1923）は、福島県の新聞誕生に深く関わった人物です。

戊辰戦争から自由民権運動を経て政党政治家として活躍した彼の生涯は、新聞とともにあったと言っても過言ではありません。当時最先端のメディアであった新聞を通じて、河野は自らの主張を世に問い、理想の実現を目指しました。そして、それは日本において報道が社会に根付いていく過程でもありました。

本展示では、河野の人生と新聞の歴史をたどりつつ、福島県の事件や出来事を振り返ります。

—主な展示資料—



中外新聞

慶応4年（1868）2月24日
堀江正樹家文書（その1）1075

慶応4年2月に旧幕府開成所頭取の柳河春三が創刊した佐幕派新聞です。日本人による最初の本格的新聞と言われています。



官許福島新聞

明治7年（1874）3月16日
佐藤五兵衛家文書 1624

明治7年2月に福島稲荷神社の宮司丹治経雄が創刊した民間新聞です。県の御用新聞としての性格が強く、翌年に廃刊となっています。



仙台福島毎日新聞

明治14年（1881）3月22日
河越卿家文書（その1）1496

明治13年11月に福島毎日新聞を改題した新聞です。自由党の機関紙としての性格が強く、福島県庁の検閲を逃れるため、仙台で発行されました。



自由新聞

明治15年（1882）6月25日
庄司家寄託文書Ⅱ 2364

明治15年6月に自由党が発行した新聞です。板垣退助を社長とし、多くの自由民権家たちの手により編集・発行されました。



福島民報

明治26年（1893）6月8日
朝倉一郎家文書 815

明治25年8月に河野広中らが福島自由党の機関紙として創刊した新聞です。のち、政友会系の新聞として県内言論界の一翼を担いました。



福島民友新聞

明治37年（1904）10月30日
中川西金之助家文書 206

明治32年11月に東北民を改題した新聞です。自由党系から離脱した河野広中陣営の機関紙として、福島民報に対抗しました。